

2018

5
月号ぶうげん
びりあ
No.298ホームページ <http://www.hahashouchu.ogasawara.ed.jp/>

目標に向かって進む

校長 横山 優美

5月の風と共にさわやかな季節になりました。新学期が始まって1か月が過ぎ、子供たちは自分たちが立てた目標達成に向けて努力しているところです。人間は、目標をもち、志を定めることで、生活の仕方や生き方がきちんと整ってくると言われています。

江戸時代の末期、長州藩（現在の山口県）の吉田松陰が「志定まれば、気盛んなり」という言葉を残しました。志とは心に決めた目標に向けて進もうとする気持ち、決心のことです。目標への気持ちが志としてはっきりすれば、自ずとやる気や意欲が生じるということです。さらに、吉田松陰は目標を決めるだけでは十分ではない。なぜ、その目標を定めるのか、その目標を達成する意味は何か、と目標への意味を自分で明らかにしたり、価値あることだろうかと自分でしっかり考えたりすることが大切と教えていたようです。つまり、気持ちが入り強い意志があれば、目標について志をもち、気持ちは高まり盛んになる、そして自分という人間の立ち位置が定まるというわけです。

この志を自分で定め、実行する大切さは、幕末から明治にかけてたくさんの人々に受け継がれました。日本の初代総理大臣であり吉田松陰の教え子である伊藤博文も16歳くらいで自らの志を定めたと言われています。新学期、新たな気持ちで目標を立てた今だからこそ、単なる目標で終わらせず、達成のための計画や実行方法をつくり、ワンステップずつ達成に向けて進んでいってほしいと思います。自分は何のために実行するのだろうか、行動した結果何が生まれるのだろうか、子供たちと一緒に考えながら、目標達成に向けて指導や支援を行っていきたいと思います。

先日の保護者会、日曜学校公開ではご多用の中、たくさんの皆様にご来校いただきありがとうございました。学校公開では子供たちの学校での学習や生活の様子をご覧いただけたと思います。子供たちの目標達成に向けての取組も学校、家庭、地域での指導が重なったとき、大きな力となっていきます。教育活動をより効果的に推進していくためには、子供たちが適切な生活習慣や主体的な学習習慣を身に付けていくことも重要です。そのために、学校、家庭、地域がそれぞれの役割を理解し、互いに力を発揮しながら、一体となって子供たちの学びや育ちを見守り、支援していくことが必要になります。今後とも学校教育にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

副校長 乙幡 英剛

八王子市立長房中学校は、特支を含む10クラスで、全校生徒は280名です。バスを降りると、高い団地がそびえ、森のように連なっています。坂を下ると、一転して、畑や竹林、杉林が広がります。いつも昔話の中に迷い込んだような錯覚におちいります。天気が良ければ、高尾山が裾野までくっきり見えます。付近には、高校や小学校等、学校が5校もあります。生徒は、礼儀正しく、目標に向かって真っ直ぐに取り組んでいる者が多く、行事には張り切って取り組みます。母島とはまた違う忙しさの日々少しずつ慣れてきました。寂しいことと言えば、大好きだった母島小中学校の校歌が聴けないことですが、娘たちがよく歌っています。時折、すれ違う人にお世話になった人の面影を見て、島での3年間を思い出します。美しい海や輝く星空、そして支庁のカレーがたまらなく懐かしいです。皆さん、本当に有り難うございました。またお目にかかる機会を楽しみにしています。

副校長 高橋 輝美

B線を朝日のまぶしさに目を細めて下り、学校へ向かった2年間でした。圧倒的な大自然の力と人のやさしさに包まれた母島での時間でした。柔軟で素直な子供たちの笑顔と何事にも一生懸命取り組む姿に感動しました。保護者や地域の皆様にもたくさん応援していただき、とてもあたたかな時間を過ごすことができました。

内地の春は、まだ冷たい風が吹くことがあります。母島でのあたたかな時間を思い出し、心を温めて、新しい学校までの道を歩いていきます。本当にありがとうございました。

養護教諭 園田 さおり

「母島ってどういう場所なんだろう。船は週に1便しかないし、荷物も届かないみたい…。」と、たくさんの食料品を買い込んで初めてのおが丸に乗ったのは、3年前の春でした。母島に到着し、船内の窓から港に集まる島の人たちの姿を見たとき、「ついに母島に来たのだ」と胸が高鳴ったことを今でも鮮明に覚えています。母島での3年間は、わたしの人生にとってたいへん有意義なものであったと思います。内地に暮らしていたままでは気付くことができなかった大切なことがたくさんありました。母島で感じたことを、この先もずっと忘れないようにしたいと思います。ありがとうございました。

小学校教諭 堀江 信吾

今、豊島区の朝日小学校、ひいらぎ教室で仕事に励んでいます。ここは特別支援教室というところで、色々な学校に行き個別または小集団で子供たちを指導しています。全くの新しいチャレンジなので、日々奮闘しています。しかも職場は家から自転車で50分、寒い内地の気候にもまだ慣れません。ただ、母島でつながってきた沢山の方々のように、新しい学校の人たちも素敵な人ばかりです。新しい出会いと挑戦を大切にしてお互いに頑張りましょう。

中学校英語 高橋 乃枝瑠

竹芝に着いてから1週間が経ち、ようやく内地に戻ってきたという実感が湧いてきました。船の上から、母島を見えなくなるまで見ていたとき、数々の思い出が甦ってきました。ミルクタイムの時にみんなで中庭でまったりしたこと、平島でアオウミガメの産卵を見たこと、神輿を担いで村中を練り歩いたこと。改めて思い返してみると、どれも内地では体験することのできない貴重な体験でした。母島に居たときに感じた母島のよさ、離れてみて感じる母島のよさ、その両方を今後は母島大使として周りの人に伝えていきたいと思います。3年間、ありがとうございました。

中学校数学 竹下 弘

母島愛が止まらない

日常から非日常へ変わるのだなと思っていた3年前。今となっては、母島での生活が日常となり、内地での生活が非日常になっています。そして、480分の1の存在であったことに誇りを持ち、新しい学校では母島での当たり前のような生活の話をよくしています。また、子供を見ては母島っ子の顔を一人一人思い出し、山を見ては壕があるのか気になり、スーパーでタコを見ては母島の海を思い出し、スズメを見てはメグロを考え、カラスを見てはノスリを考え、ヘリコプターを見てはドローンを懐かしがり、満月を見てはイカを釣りたくなり、天気予報ではついつい小笠原を気にしてしまいます。

あと3年母島に住んでいたら教員を辞めて移住していたのではないだろうかというくらい母島での生活と人が好きでした。母島育ちの児童・生徒のみんなが本当に羨ましい。是非、母島での生活に誇りをもって、素敵な日々を送ってください。

中学校社会 松木園英理

小・中学生の皆さん、お元気ですか。天気予報で小笠原の晴れマークを見つける度に、強烈な日差しを浴びて、ぐんぐん大きくなっていく皆さんの姿を想像しています。「人と人との絆を大切に思う気持ち」に溢れていた小・中学生の皆さん。これからも、島の皆さんや島の豊かな自然からたくさんのお話を教わって、荒波にも負けない逞しさを育ててください。

私にとって母島は、船から降りた瞬間「ただいま。」と口に出してしまうような、島全体が家族のように感じる場所でした。皆さんが温かく迎え入れてくださったことを決して忘れません。この母島の魅力を内地の生徒たちにもじっくり伝えていきます。3年間本当にありがとうございました。

中学校音楽 矢舗 陽子

母島を離れて約3週間。毎日、気付けば母島の話をしています。正直な気持ち、内地に来て暫くは、「母島の人に会いたい」「日常だった母島の風景を見たい」と強く思う日々でした。

新しく赴任した学校では、1クラス約40名の生徒たちへの最初の授業で、必ず母島の話をしました。在籍人数のことや自然の話をする、その度に驚きの声が上がリ、目を輝かせて話を聞いてくれました。母島がどれほど素晴らしいところなのか、改めて実感した瞬間でした。到底、一口には語り尽せない、苦しさ悔しさ、喜び、感動に満ちた日々。今、全校生徒360名を前にしたとき、母小中のみんな一人一人の顔がこんなに鮮明に頭に浮かび、その一人一人とのエピソードを思い出せることが本当に幸せなことだと思います。私にとって、母小中の子供たちに出会えたことは、かけがえの無い奇跡です。間違いなく今の自分の原動力になっています。この素晴らしい経験を生かし、新しい地で出会った生徒たちと音楽を楽しみたいと思います。ありがとうございました。

中学校家庭 前田 美緒

4月から、今年度開校した義務教育学校で働いています。異なる環境に不安を抱きながら母島を離れました。年度当初、「どうしようかな」と悩んでいたときに、背中を押してくれたのは、母島のつながりです。卒業生や島で出会った仲間からの何気ない一言が、私を前向きな気持ちにしてくれました。今は、生活に慣れ、楽しみなことや挑戦したい目標が湧き出てきています。母島小中学校の児童生徒の皆さん。母島には、そんな素敵なつながりが溢れています。母島での毎日、一緒に過ごす仲間を大切にしてください。

母島では、子供たちと共に、様々な経験をし、考え、学ばせていただきました。児童生徒の皆さん、保護者・地域の皆さん、お世話になりました。またお会いできる日を楽しみにしています。どうか、お元気で。

小学校教諭 今川 麻里子

島を離れて約1ヶ月、母島ロス真っ最中の今川麻里子です。職場ではつい「母島ではね…」と話し始める始末。そろそろ島離れをしなくては！と思うのですが、強く刻み込まれた母島愛からはなかなか抜けられません。今はジリジリと肌が焼けるような陽射し、キラキラ輝く海、ふわりと漂う潮の香りがとても懐かしいです。子供たちと出会って、島民の方々と出会って、たった3年間ではありましたが、一回りも二回りも人間として成長できたと思っています。本当にありがとうございました。

一人でも多くの人に島の魅力を伝えたくて、今担任している4年生33人には、母島の話をよくしています。子供たちが目を輝かせながら話を聞いてくれるので、つい長話になることも…。みんな、小笠原に行きたい！と言ってくれています。母島サポーターの一人として、皆様と母島の発展を願って、今後も内地から島の宣伝活動を続けていきます。皆様とまたお会いしたいです。どうぞお体ご自愛ください。

はじめていっぱい！1年生！

小学校 1年担任 福田 敦志

「あゆるくん、せいごくん、ようこそ母島小学校へ」
ピカピカのランドセルにビシッときましたスーツで登校してきた2人。普段の園庭や前浜で見ている2人とはまた一味違い、小学生らしい立派な姿でした。地域の皆さんも「もう1年生かあ。大きくなったなあ。」と温かい眼差しで二人を見守ってくれていたことでしょう。

母島小学校は、楽しいことや素敵なことでいっぱいです。1年生は初めてのこともいっぱい、ドキドキワクワクです。さて、どんなことをして学ぼうか。どんなことをして遊ぼうか。私も、ドキドキワクワクしています。初めて入った1年生の教室

はどうでしたか。自分の机での初めてのお勉強、がんばっていますね。中庭で飲むはじめての牛乳は最高ですね。そんなたくさんの「はじめて」と「楽しい」がいっぱいの学校生活になるよう、私も一緒になって楽しんでいきます。母島小学校1年生のはじまりはじまり！



入学おめでとう！

中学校 1年担任 新居 史歩

母島らしい雲一つないくらい晴れた日に新一年生の入学式を行うことができました。入学式では緊張や不安があったようですが、校長先生や在校生の話を真剣に聞く姿はさすが中学生だと思いました。教室ではやる気でいっぱい「教室で植物を育てたい。」「平島移動教室では生物について勉強したい。」など、これからの事に期待をもっています。

今年度の中学生は一人なので、同級生がいません。その代わりに道徳や総合、英会話などの授業では学年の先生たちと一緒に机を並べて勉強しています。笑いながら「後ろから見張られているみたい。」と言って、このめずらしい光景を楽しんでいます。

これから平島移動教室など様々な行事があります。やりたいこと・興味があることにどんどん挑戦して行ってほしいです。そのために前向きな気持ちを持ちながら、楽しい1年にしていきたいと考えています。



5月の生活指導

生活目標

「お互いを大切にしよう」

- ・あいさつ、正しい、言葉づかいをして、気持ちのよい学校生活をしよう。
- ・思いやりの心をもとう。
- ・悩みごとは、周りの人に相談しよう。

安全指導 7日(月)

指導項目は、「けがに対する注意とけがをした時の対応、海での遊び方」です。遊具の使い方や体育館・校庭等での安全な遊び方について確認します。また、けがをしたときの適切な対処について指導します。海での遊びのルールについても確認をします。

〈海に遊びに行くときのルール〉

小学生は保護者または同等の大人と一緒にいく。

避難訓練 9日(水)

大型の台風の接近を想定した児童生徒の緊急集団下校訓練を行います。

集団下校班を確認し、教員の指示の下、安全に注意しながら下校させます。

第44回運動会について

○日 時

平成30年5月27日(日)

午前9時00分～午後3時30分

(雨天の場合)

- ・6月2日(土)、6月3日(日)に順延します。
- 雨天順延の場合 5月27日 平常授業

○お願い

- ・車でのご来校はご遠慮ください。
- ・学校敷地内は禁煙です。
- ・天候などにより、競技開始時間が変更、または中止になることがあります。

学校施設の使用について

○学校施設の使用を希望される方は、「学校施設使用申請書」に必要事項を記入して、本校職員室までご持参ください。

○「学校施設使用申請書」は、本校職員室にお申し出いただくか、本校ホームページよりダウンロードしてください。

○年間を通しての使用を希望される場合は、来年4月の学校施設使用団体の代表者会議にご出席いただきます。事前にお申し出ください。

〈緊急連絡メールについて〉

5月9日(水)に、台風接近を想定した集団下校訓練を行います。メール登録をいただいている保護者の皆様にメールが配信されます。もし、メールが届いていない、あるいは不都合なことがございましたら、学校までご連絡ください。(今回はメールの配信テストも兼ねています。)

5月の主な行事予定			16	水	周辺美化
1	火	村学力調査	17	木	父島移動教室始(小6)
2	水	(全)眼科検診 行事前検診(中3)	18	金	
3	木	憲法記念日	19	土	父島移動教室終(小6)
4	金	みどりの日 PTA総会・歓迎会	20	日	
5	土	こどもの日 修学旅行始(中3)	21	月	朝礼 (全)耳鼻科検診
6	日		22	火	心肺蘇生法講習会(中1～中3) 学校寄席
7	月	朝礼(安全指導)	23	水	運動会予行
8	火	家庭訪問(終)	24	木	運動会予行(予備)
9	水	避難訓練(集団下校) ユメセン(小5,6)	25	金	運動会前日準備
10	木		26	土	
11	金	プール清掃(小4,5,6)	27	日	第44回運動会
12	土		28	月	振替休業日
13	日		29	火	
14	月	朝礼(保健指導) 修学旅行終(中3)	30	水	
15	火	振替休業日(中3) 行事前検診(小6)	31	水	